

令和6年度厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と
情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究
分担研究報告書

研究分担課題名：多様な世代の国民向けHIV感染妊娠の情報啓発アプローチの実践と
基盤開発に向けた研究
(性感染症、母子感染に関する国民向け啓発～実践・修正を繰り返し啓発資材の最適化)

研究分担者：高野政志	防衛医科大学校 産科婦人科学講座
研究協力者：浅野 真	東京都立大塚病院 産婦人科
石橋理子	奈良県総合医療センター 産婦人科
喜多恒介	株式会社キタイエ
佐野貴子	神奈川県立衛生研究所 微生物部
鈴木ひとみ	国立国際医療研究センター 看護部
瀬戸理玄	瀬戸病院 産婦人科
谷村憲司	神戸大学大学院研究科 外科系講座 産婦人科分野
多田和美	獨協医科大学 医学部・大学院 産科婦人科学講座
長與由紀子	九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター 看護部
羽柴知恵子	名古屋医療センター エイズ治療開発センター 看護部
廣瀬紀子	山梨県立北病院 医療安全管理室
松田秀雄	松田母子クリニック
桃原祥人	横浜市立みなと赤十字病院 産婦人科
三上由美子	防衛医科大学校 医学教育部看護学科 母性看護学講座
森實真由美	美ら海ハシイ産婦人科長
渡邊英恵	金沢医療センター 看護部

研究要旨

性感染症、母子感染に関する国民向け啓発を実践するために3つのチームで活動を行った。①ホームページ・SNS(X、旧ツイッター)での啓発活動、②AIDS文化フォーラム・学園祭等での普及・啓発活動、③妊婦に対するHIVスクリーニング検査等の普及・啓発活動、④SNSへの動画投稿による啓発活動、とわけて、各々活動した。今年度の啓発活動の効果を評価しつつ、年度毎に修正を行い、啓発活動の基盤を開発する。

A. 研究目的

HIV 母子感染根絶のため、HIV ふくむ性感染症全般と妊娠に関する情報を、多様な世代へむけ、どのような内容・媒体で啓発するか、効果の評価をしつつ、情報発信の基盤開発とすることを目的とする。

B. 研究方法

当班の活動を下記4つのパートで運営した。

① ホームページ・SNS(X、旧ツイッター)での啓

発活動（鈴木ひとみ、浅野真、喜多恒介、多田和美、桃原祥人、渡邊英恵）

当班が管理しているホームページ・SNS(X、旧ツイッター)の内容や、掲載資料を適宜、見直して改定や新規資材の追加等を行う。

② AIDS文化フォーラム・学園祭等での普及・啓発活動（羽柴知恵子、谷村憲司、長與由紀子、廣瀬紀子、松田英雄）

AIDS 文化フォーラム in 横浜、ならびに京都へ参加して当班の情報をひろめ、HIV をふくむ性感染症予防の啓発を行う。また、美作短期大学のゼミ生との意見交換し、有効かつ効果的な啓発方法について調査を行うこととした。

③ 妊婦に対する HIV スクリーニング検査等の普及・啓発活動（三上由美子、石橋理子、佐野貴子、瀬戸理玄、森實真由美）

HIV をはじめとする性感染症および母子感染に関する啓発資材の効果検証を行い、その最適化を図るために、今年度は、電磁的な方法による啓発・教育方法が有効か否かを検証する調査を予定した。

④ SNS への動画投稿による啓発活動（喜多恒介、高野政志）

本研究班の目標として「HIV による母子感染がゼロになること」を設定し、そのための啓発資材の開発のために、今年度は、「性感染症検査」に関する知識、ならびに検査をうけるための行動変容の手がかりの抽出を行うこととした。具体的には、日本産婦人科医会主催の性教育指導セミナー全国大会において参加者と意見交換を予定し、情報を得ることとした。

また、昨年までに配信してきた性感染症に関する啓発動画について長期的（6 ヶ月後）に視聴数の多い啓発動画について短期的視聴数（2 週間）とタイトル、視聴数を確認し、全啓発動画の相視聴数を算出する。

（倫理面への配慮）

③妊婦に対する HIV スクリーニング検査等に関する研究については防衛医科大学校倫理委員会で承認（承認番号 5068）を得て実施している。

C. 研究結果

① ホームページ・SNS(X、旧ツイッター)での啓発活動

ホームページ、X において、お知らせ等を順次、更新してきている。今年度は「妊婦 HIV 検査（スクリーニング検査）で結果が陽性だった方へ」について全面改定を行い、ホームページに掲載した。

さらに改定を要する資材として「女性のための Q & A 第 4 版 貴方らしく明日を生きるために」、ならびに「妊婦 HIV 一次検査実施マニュアル」を今年度中に改定し、ホームページ掲載する。今年度の当班ホームページのページビュー数を表 1 に掲載した。ビュー数の多い順として Q&A、次いでホームページ画面、ガイドライン・マニュアル・リーフレットであった。特に昨年度マニュアルを改定したこともあり、ガイドライン・マニュアル・リーフレットのビュー数は大幅に増加している。また、「クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ」へのアクセス数を表 2 で示した。女性編も男性編ともに令和 6 年 11 月にアクセスが急増しており、パソコンからのアクセスによるものであった。

当班で昨年度までに作成した紙媒体の資材（小冊子、リーフレット、カード等）を使用したいと個別に自治体からの問い合わせがあり対応したものを表 3 に示す。年度の後半は個別配布が困難な自治体もあったが、その場合は当班のホームページを紹介し、自治体で各々印刷して頂くか、対象の個人がアクセスしてもらうよう啓発をお願いした。多くの自治体は成人式に配布するためとするものが多かった。

今年度は各自治体への啓発資材配布において、ホームページ・紙媒体の利用依頼に加えて、当班作成の啓発動画を視聴頂きたいこと、出前講座を無料開催するので依頼してほしい旨を記載して案内配布をした。

② AIDS 文化フォーラム・学園祭等での普及・啓発活動

AIDS 文化フォーラム in Yokohama では、タイトルは「妊婦さんの感染症、どう伝える！？ ～HIV、梅毒、STD などで困っている女性へ～」とし会場参加者は 40 名ほど、ZOOM 参加者は 76 名で参集した。「HIV と母子感染」「STD、梅毒、どう予防する？」「HPV と母子感染」の 3 つの内容で講演、ならびに質疑応答を行った。総合討論としては、性感染症や HIV/HPV に対する予防効果としてのコンドームについて、予防効果が 100%でない部分をどのように対処すべきかについて、議論となった。性感染症の病原体の特性にあわせて対応すべき点

や、射精のときだけコンドームを使うなどの誤った方法について啓発していく必要性を再認識した。また、HPV ワクチンの安全性についての報道の変化をどのように考えたらよいかや、接種する対象者の年齢や性交渉歴などについても複数の質問があった。当班作成の google フォームによるアンケートには7名から返答があった。アンケートでは概ね、好意的な内容であったが、自由記載ではHIV 陽性者でも妊娠・出産できることを初めて知ったとするものや、夫婦にとっての将来・親子にとっての将来の両方に視点をむけた内容を期待するとの意見も頂いた。図1にAIDS文化フォーラム in Yokohama の当班担当部分報告書を掲載した。

AIDS 文化フォーラム in 京都では「妊婦さん、女性の性感染症！？～どうやって予防するか一緒に考えましょう～」というテーマで展示を行った。展示パネルでは、当分担班が啓発セミナーや学会で報告してきたHIV 陽性妊娠の全国調査のデータや、性感染症に関する情報などを紹介、さらにスクリーンモニターでは、当分担班が昨年度までに作成した性感染症に関する動画を映写して実施した。配布資料としては、各々100部以上持参しましたが、2日間で不足するものもあり、追加印刷したものもあるほどだった。また2日目の京都新聞朝刊に「エイズの母子感染予防に関する展示」と紹介頂き、反響は大きかったと感じた。また、当班メンバーによる“性感染症、HIV 感染妊娠に関する出前講座”についても展示で紹介し、現地では2カ所ほど、具体的に打診があった。班作成の google フォームによるアンケートには5名から返答があった。図2にAIDS文化フォーラム in 京都の当班担当部分報告書を掲載した。

美作短期大学のゼミ生との協議会では、当班の研究内容について2名がプレゼンテーションを行い、その後に全体で質疑応答を行った。事前に当班が作成した啓発動画を視聴してもらい、それに対する感想や意見を伺った。また普段、情報を得るための手段としてどのような媒体を用いているかについて議論した。ゼミ生12名が参加し、8名が視聴した感想について回答した(図3)。アンケート回答者は全て出産歴のない女性で、20～22歳であった。視聴した第一印象として2名がふ

つう、6名は面白かったとした。動画の長さはちょうどよいが5名、すこし短い3名であった。解説する口調、リズムについては問題なしとするものがほとんどであったが、字幕が早くて聞き取りにくいとするものが散見された。配信方法、配信時間は概ねよいとされたが、投稿時間を告知するほうがよいとするもの、動画内容がわかりにくいサムネイルで改善すべきとする意見があった。ふだん暇なときに情報収集する媒体としてはYouTube 8例、インターネット/Instagramが4名ずつ、TikTok 3名、テレビ2名であり、印刷物は0名であった。一方、真剣に情報収集するときの媒体についてはインターネット8名、印刷物4名、YouTube 3名で、テレビ/Instagram/TikTok と回答したものはいなかった。また今後知りたい情報として月経痛、性感染症の症状・治療法、医療費免除の制度、性感染症と妊娠のこと、などを指摘頂いた。また、ハッシュタグの活用でヒット率があがるであろうこと、文章だけでなくイラストの利用を推奨するとのコメントも頂いた。

また、埼玉県さいたま市において、当班3名が講師として参加する啓発セミナー「年代別、女性の体調管理 How To 講座」の12月14日大宮ソニックにおいて開催した(主催:大塚製薬、協力:サンケイリビング新聞社)。紹介チラシはサンケイリビング埼玉の2024年10月25日号に掲載された(図4)。講演のテーマとしては、1) 女性を取り巻く状況について～年代別の注意すべき疾患とその予防法～ 2) 免疫を左右する病気、知っていますか(AIDS って何?) 3) 最近増えている??月経トラブル、の3つであり講演形式で啓発を行い、質疑応答も行った。講師は3名とも本研究班に所属する研究員が担当し、“HIV 母子感染研究班所属”と紹介された。特に2)では当研究班の吉野代表が担当し研究班の成果も紹介し、免疫とは何かについてエイズの病態もふくめて解りやすく啓発した。図5に参加者からの反響を提示した。参加27名全てから回答を得ており、講座へ満足、または概ね満足と全員が答えて。1名以外全員が知識向上した、または概ね向上したと答えた。誰かに伝えたいような内容か、の問いには、是非伝えたい、または概ね伝えたいと1名以外が答えた。

③ 妊婦に対する HIV スクリーニング検査等の普及・啓発活動

紙媒体であった2種の啓発資材①クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ（リーフレット）、②HIVや梅毒をはじめとする性感染症のすべてが簡単にわかる本（小冊子）にアクセスできるQRコードを作成し、アンケートは令和5年度の内容にHIVスクリーニング検査以外の性感染症（STD）に関する質問も項目に加え、Microsoft formで電磁化し、スマートフォンで回答しやすいよう形式を整えた。研究への協力の意思がある妊婦は、リーフレットに示されたQRコードから個々に2種類の啓発資材を閲覧し、その後別のQRコードからアンケート（Microsoft form）に回答する形式とした（図6）。防衛医科大学校倫理委員会の承認（2024.9.5承認番号5068）をえて、防衛医科大学校病院および埼玉県内の産科有床診療所等4施設で調査を開始した。

2025年2月6日時点で85名の回答を得ている。

表4-1に回答妊婦の背景を記載した。回答に要する時間は平均3分10秒、中央値2分21秒であり、出産回数0回が40名であった。

啓発資材の分量としてはちょうど良いとするものが6割以上であったが、どちらかというとい多い、または多すぎるとするものが3割ほどいた。また、理解度としては8割以上理解できたとするものが6割以上をしめてはいるものの、小冊子の方が全般的な理解度が低かった。さらにこのリーフレット・冊子でHIV母子感染を知ったとするものが19%いることも判明した（表4-2）。

表4-3でHIVスクリーニング検査の偽陽性について問うたが、偽陽性が95%であることが既知とするものが15%、電磁的資材で知ったとするものが84%いた。偽陽性といわれ確認検査結果をまつ期間は動揺するともものが54%、偽陽性率が高いことを知っていれば落ち着いていられるとするものが41%であった。95%がHIV感染の知識が増えたとしている。

HIV以外の性感染症が母子感染する可能性や、梅毒・クラミジア感染・淋菌感染などの情報を今回の電磁啓発資材で知ったとするものが2割以上いた。（表4-4）

性感染症の予防方法としてほとんどが、コンドームの使用、不特定多数とはしないを選択したが、“気になる症状があるときに医師の診察をうける”または“パートナーと一緒に性感染症の検査をうける”を選択しないものが各々21%、28%いた。また、妊娠前の風疹ワクチン接種が推奨されることをこの電磁資材で知ったとするものが21%いた。（表4-5）

④ SNS への動画投稿による啓発活動

今年度は、次年度以降に作成予定の啓発動画のテーマ、内容を探るための基礎資料を若者から得るために、日本産婦人科医会主催の性教育指導セミナー全国大会への参加者を対象として「性感染症の検査についてどのようなことを知っているか、検査を自身がうけるとしたらどのようなきっかけか、学校の授業でどの程度教育をうけるのか、等」について意見交換した。

対象の多くは医療系の学生やコメディカルであり、20歳前後から20代前半、一部に30代半ばも含まれた。ほとんどが、中学校や専門学校の授業で性感染症について少し学んだ経験があり性感染症が存在することは認識しているものの、検査方法については具体的な内容は知らない、と答えた。また、半数が保健所において匿名、無料で検査を受けることができることは知っているが、具体的な検査内容は知らないと答えた。検査を受けるハードルとして無症状なので自分は大丈夫と思っている以外に、必要性は感じつつも「予約や初めの一步を踏み出すことが面倒」で、検査を受けやすくするためには、その最初のステップを軽減する方法が必要だ、との答えがあった。

昨年までにシーズン1、2、3と分けて配信してきた動画について長期的（6か月後）に視聴数の多いものについてタイトルと短期的視聴数（2週間後）とあわせて表5に記載した。シーズン1（2023.01.12～02.10、計21コンテンツ）、シーズン2（2023.09.04～09.22、計14コンテンツ）、シーズン3（2023.11.06～11.28、計16コンテンツ）が対象である。全ての動画視聴数を表6に示した。各々のアプリごとに視聴数の傾向が異なり、動画によっても視聴者の傾向も異なっていた。6か月総視聴数はYouTube 18万回、Instagram 478万

回、TikTok 261 万回で、のべ総数 758 万回であった。

D. 考察

① ホームページ・SNS(X、旧ツイッター)での啓発活動

ホームページ・SNS(X、旧ツイッター)の運営、維持について具体的な手技を専属の秘書に引き継ぐことができた。また、「妊婦 HIV 検査（スクリーニング検査）で結果が陽性だった方へ」は全面改定ができた。「女性のための Q&A 第 4 版」は当班のホームページビュー数としては、最多のビュー数を記録するコンテンツであるため正確、かつ丁寧な内容を記すべく改定作業の途中で鋭意作業中であり、今年度中の完了を予定している。表 1 のビュー数からも年度の後半で閲覧頂くケースが増加しており、8 月・10 月の AIDS 文化フォーラムや 11 月末のエイズ学会などで当班の活動や HP 情報を宣伝することで、アクセス頂いている可能性を推察している。とくに 10 月の AIDS 文化フォーラム京都では展示ブースで多くの来場者へパンフレット等を配布できたことも一因であろう。複数の催し、啓発活動を継続していくことで、これらビュー数の増加につなげていくことが重要であろう。

次年度の活動として 1) 小冊子の内容を SNS 発信、2) HIV 母子感染/性感染症 e-learning シリーズの新設、を予定しており、具体的な作業プロセスを作成する。今後、各種資料へのアクセス数、ダウンロード数等も評価し、各種資料作成に生かしていく。

② AIDS 文化フォーラム・学園祭等での普及・啓発活動

AIDS 文化フォーラム横浜では講演形式、AIDS 文化フォーラム京都では展示で当班の研究内容や、性感染症予防の啓発活動を行った。展示での参加は初めての試みであったが、参加者と対面で時間をかけて会話でき、相手の意向も聞き取れる点が講演とは異なっており、メリットとなると思われた。美作短期大学のゼミ生との協議においては、当班作成の啓発動画について具体的に感想や改善点を指摘頂いた。具体的には、ショート動画

でももう少し長めの動画を希望する意見が散見されたこと、字幕が早く消えて重要な部分が伝わりにくい点があったこと、配信時間の告知をいれるとよいとの指摘、YouTube のサムネイルについての改善点などを次年度以降にとりいれて動画作成に生かして行きたい。今後の動画作成に有用な貴重な情報をえることができた。

③ 妊婦に対する HIV スクリーニング検査等の普及・啓発活動

アンケートの回収状況は当初の想定より低い状況ではあるが、2 月 6 日時点で 85 名から回収できしており、本システムが機能できていることをまずは確認できた。

啓発資材の分量について「どちらかというが多い」、「多い」と回答した者が 3 割程度いたことから、啓発資材のボリュームの調整や電磁的に見やすい工夫が必要である。

啓発資材の内容について、8 割以上理解できた者が約 6~7 割であり、自由記述の内容からも勉強になった、役にたったと答えた者が多いことから、啓発資材は有用であると考えられる一方、「以前から知っていた」と元々の知識が高い項目が複数あり、情報の濃淡をつける工夫が必要である。また、小冊子の方がリーフレットよりも理解度が低い傾向があるため、次年度の電磁的啓発資材の修正・調整が必要である。

修正ならびに調整が必要な部分が明らかとなり、次年度は電磁的資材の最適化を行い、妊婦への情報発信、啓発を予定する。

④ SNS への動画投稿による啓発活動

今年度は、HIV 検査受診行動へつながるための手がかりを調査するため、聞き取り調査を実施した。ほぼ全員がが、性感染症について病名については学校で学んだ経験があるが、検査方法の具体的な内容は知らない、と答えた。また半数が保健所において匿名、無料で検査を受けられることは知っているが、どのような検査をするのかは知らない。検査を受けるためのハードルは、無症状のため自分は大丈夫と思い込んでいることに加えて、予約や始めの一步が踏み出せないため、なにかの“きっかけ”があれば受けてもらえるかもし

れない、と示唆された。性感染症の検査内容を解りやすく説明ことや、受診行動すべき初期症状の解説、キャンペーン運動の提唱、などを次年度以降の動画作成に取り入れて行きたい。

E. 結論

① ホームページ・SNSでの啓発活動

当初、予定した内容が未完であり、本年度中の作業を継続しつつ、ホームページ、Xでの内容の刷新・更新を継続する。

② AIDS文化フォーラム・学園祭等での普及・啓発活動

当初、予定したイベントへの参加はほぼ予定通りであり、啓発セミナーも主催・協力者と開催することができ、一般聴衆からのレスポンスも良好であった。

AIDS文化フォーラム、ならびに各種大学ゼミとの協議、さらには市民への啓発セミナーを通して情報を広め、WEB単独での啓発活動を取り入れて、複数の啓発活動をすすめる。

③ 妊婦に対するHIVスクリーニング検査等の普及・啓発活動

初年度の電磁的資料による啓発、ならびにアンケート調査が実施できている。次年度は電磁的資料の最適化を行い、妊婦への情報発信、啓発を予定する。

④ SNSへの動画投稿による啓発活動

性感染症の受診行動につながる種々基礎的資料を得た。次年度以降の啓発動画作成に生かしていく。シーズン1～3までに配信した啓発動画のべ視聴数は758万回であり、このプラットフォームを用いて効果的な啓発動画の発信を予定する。

2) 研究成果の学術的・国際的・社会的意義

得られた成果について次年度の学術講演会や各種啓発活動で発表し、情報普及や問題提起をし、行動変容をおこすような啓発活動へ発展させる。また、国際的な意義も確認しつつ活動を継続させていく。

3) 今後の展望

4つのテーマ毎にそれぞれ、啓発活動を継続していき、有機的に相互作用として、次年度以降に作成予定の啓発動画のインパクトを高めていきたい。また、妊婦に対するHIVスクリーニング検査に関する全国展開できるような電磁的啓発資料として育成していきたい。

G. 研究業績

1. 論文発表

著書

- 1) 高野政志、宮本守員、加藤頭人. 骨盤炎症性疾患. 感染症 最新の治療 2025-2027 (館田一博、大毛宏喜、石井誠編集) 189-190, 2025. 01 南江堂.

英文論文

- 1) Takahashi Y, Fujiwara H, Yamamoto K, Takano M, Miyamoto M, Hasegawa K, Miwa M, Satoh T, Itagaki H, Hirakawa T, Mori-Uchino M, Nagai T, Hamada Y, Yamashita S, Yano H, Kato T, Fujiwara K, Suzuki M; GOTIC-VTE Trial Investigators. Prevention of symptomatic pulmonary embolism for gynecologic malignancies with preoperative asymptomatic venous thromboembolism: GOTIC-VTE trial. J Gynecol Oncol. 2024 Jul;35(4):e37. doi: 10.3802/jgo.2024.35.e37. Epub 2024 Jan 1. PMID: 38178702; PMCID: PMC11262890.
- 2) Ito T, Miyamoto M, Kishimoto N, Suminokura J, Hada T, Kakimoto S, Kato K, Takano M. Survival and biomarker analysis for cancer-associated thromboembolism in ovarian clear cell carcinoma. Mol Clin Oncol. 2024 Nov 12;22(1):9. doi: 10.3892/mco.2024.2804. PMID: 39583927; PMCID: PMC11582522.
- 3) Nagao S, Nishio S, Takehara K, Sato S, Satoh T, Shimada M, Yamaguchi S, Tanabe H, Takano M, Horie K, Takei Y, Imai Y, Hibino Y, Hasegawa K, Takekuma M, Nakamura K,

Takano H, Fujiwara K, Masuyama H.
Re-administration of platinum-based
chemotherapy for recurrent endometrial
cancer: an ancillary analysis of the
SGSG-012/GOTIC-004/Intergroup study. *Int
J Clin Oncol*. 2024 Oct;29(10):1594-1601.
doi: 10.1007/s10147-024-02585-1. Epub
2024 Jul 13. PMID: 39001945; PMCID:
PMC11420358.

- 4) Takahashi Y, Fujiwara H, Yamamoto K,
Yamaguchi S, Nagao S, Takano M, Miyamoto
M, Hasegawa K, Miwa M, Yasuoka T, Yamashita
S, Hirakawa T, Nagai T, Hamada Y, Uno M,
Mori-Uchino M, Ohwada M, Mitsuhashi A,
Satoh T, Fujiwara K, Suzuki M; GOTIC-VTE
Trial Investigators. Incidence and risk
factors for venous thromboembolism in
gynecological cancer: the GOTIC-VTE trial.
J Thromb Thrombolysis. 2024 Nov 27. doi:
10.1007/s11239-024-03055-1. Epub ahead of
print. PMID: 39602066.

和文論文

- 1) 宅島潤一, 伊藤翼, 西村想子, 今氏晶梨,
三宅太郎, 宮本守員, 齋藤啓太, 島崎英幸,
笹秀典, 高野政志. 子宮頸部に腫瘤を形成
し子宮頸癌と鑑別を要した悪性リンパ腫の1
例. 埼玉県医学会雑誌 第60回埼玉県学会総
会特集 58(1): 286-289, 2024. 01
- 2) 杉山正乙, 大塚由花, 高田美乃莉, 岩間公
隆, 吉本和矢, 田邊利砂, 宮本守員, 鈴木
理絵, 笹秀典, 高野政志. 保存的内分泌療
法に難渋した子宮腺筋症の1例-レルゴリク
スの長期投与. 埼玉県医学会雑誌 第60回埼
玉県学会総会特集 58(1): 267-270, 2024. 01
- 3) 小川瑞貴, 清水日和, 齋藤舞桜, 浅見真菜,
酒見侑果, 奈良本千朋, 藤田奈津美, 伊藤
響, 浅見悠可, 感染症免疫ゼミ, 羽柴知恵
子, 高野政志, 蜂谷敦子. 若年層の性感染
症に対する意識調査と効果的な情報発信に
ついて. 新渡戸文化短期大学学術雑誌(14):
1-11, 2024. 02
- 4) 菊池琴佳, 小山理恵, 吉野直人, 岩動ちず

子, 伊藤由子, 杉浦敦, 田中瑞恵, 山田里
佳, 北島浩二, 出口雅士, 高野政志, 喜多
恒和. 本邦における未受診妊婦とHIV検査の
実施状況に関する全国調査. 日本エイズ学
会誌 26(1): 38-44, 2024. 02

- 5) 山口諒大, 伊藤翼, 岩間公隆, 三宅太郎,
吉本和矢, 今氏 晶梨, 高田 美乃莉, 田
邊利砂, 西村想子, 大塚由花, 宮本守員,
鈴木理絵, 笹秀典, 高野政志. 右卵巢静脈
から発生した平滑筋肉腫の1例. 埼玉産科婦
人科学会雑誌 54(1): 18-22, 2024. 03
- 6) 高野政志. 感染症としてのHPVをいかに防ぐ
か? さいたま市与野医師会報(63): 232-237,
2024. 07
- 7) 伊藤翼, 笹秀典, 三宅太郎, 羽田平, 宮本守
員, 高橋宏美, 三鍋慎也, 島崎英幸, 松熊
晋, 高野政志. 擦過細胞診で肉腫細胞がみ
られた子宮頸部原発の平滑筋肉腫の1例.
埼玉県臨床細胞学会誌 42: 68-72, 2024. 07
- 8) 菅沼奈弥, 高田美乃莉, 宮本守員, 海士洋
平, 田中佑奈, 今氏晶梨, 岩間公隆, 三宅
太郎, 吉本和矢, 岸本直久, 羽田平, 加藤
顕人, 笹秀典, 高野政志. 右卵管妊娠術後
に右残存卵管の妊娠を疑い、腹腔鏡下手術で
診断・治療し得た腹膜妊娠の1例. 埼玉産科
婦人科学会雑誌 54(2):190-194, 2024. 09.
- 9) 山本由起, 笹秀典, 三宅太郎, 今氏晶梨,
伊藤翼, 角倉仁, 羽田平, 加藤顕人, 垣本
壮一郎, 宮本守員, 松熊晋, 高野政志. 子
宮頸部円錐切除後の再発病変診断のピット
フォール:再発が侵潤癌だった2例から. 埼
玉県医学会雑誌 第61回埼玉県学会総会特集
59(1):315-320, 2025. 01

2. 学会発表

国際学会発表

- 1) Hidenori Sasa, Miyake Taro, Imauji Akari,
Ito Tsubasa, Hada Taira, Kato Kento,
Miyamoto Morikazu, Takano Masashi.
Diagnostic pitfall of recurrence after
conization in patients with uterine
cervical lesions: A report of two cases.
The 76th Annual Congress of the Japan

- Society of Obstetrics and Gynecology, Yokohama, 2024. 04
- 2) Yuka Otsuka, Kohsuke Hagiwara, Ruka Sasa, Koki Kaneko, Morikazu Miyamoto, Kimiya Sato, Hidenori Sasa, Katsuo Terui, Manabu Kinoshita, Masashi Takano. Establishment of Severe Amniotic Fluid Embolism Model. 47th Annual Conference on Shock, Florida, 2024. 06
 - 3) Yuka Otsuka, Yusuke Yoshida, Yasuyuki Honda, Kento Kato, Hiroaki Soyama, Morikazu Miyamoto, Hidenori Sasa, Takayuki Kurokawa, Hitoshi Ogawa, Masashi Takano. Age-related Differences in the Efficacy of Zika Virus Education among Crew Members of Japan Maritime Self-Defense Force. The Military Health System Research Symposium (MHSRS) 2024, Florida, 2024. 08
 - 4) Tsubasa Ito, Hidenori Sasa, Taira Hada, Kento Kato, Hiroaki Soyama, Morikazu Miyamoto, Misaki Nakayama, Hiromi Takahashi, Shinya Minabe, Susumu Matsukuma, Masashi Takano. Primary leiomyosarcoma of the uterine cervix diagnosed with sarcomatoid cells on uterine cervical cytology:a case report. International Session of the 36th Annual Fall Meeting of the Korean Society for Cytopathology(The 21st Korea-Japan Joint Meeting for Diagnostic Cytopathology), 2024. 09
 - 5) Sasa Hidenori, Ito Tsubasa, Miyake Taro, Hada Taira, Kato Kento, Miyamoto Morikazu, Minabe Shinya, Matsukuma Susumu, Takano Masashi. Diagnostic problems of recurrence after conization in patients with uterine cervical lesions: a report of two cases. International Session of the 36th Annual Fall Meeting of the Korean Society for Cytopathology(The 21st Korea-Japan Joint Meeting for Diagnostic Cytopathology), 2024. 09
 - 6) Rie Suzuki, Hidenori Sasa, Tsubasa Ito, Taira Hada, Hideki Iwahashi, Kento Kato, Hiroaki Soyama, Morikazu Miyamoto, Shinya Minabe, Kosuke Miyai, Sho Ogata, Masashi Takano. Unexpected invasive uterine cervical cancer identified after vaginal hysterectomy for Pelvic organ prolapse (POP) with cervical intraepithelial neoplasia: A case report. International Session of the 36th Annual Fall Meeting of the Korean Society for Cytopathology(The 21st Korea-Japan Joint Meeting for Diagnostic Cytopathology), 2024. 09
- 国内学会発表
シンポジウム、ワークショップ、等
- 1) 高野政志. 特別講演「産婦人科医療における防衛医大の役割」第46回埼玉県産婦人科医会北部ブロック学術講演会, 埼玉, 2024. 01
 - 2) 高野政志. 特別講演「埼玉県産婦人科医会の取り組み」懇談テーマ“これからも女性の健康を願って”日本産婦人科医会第182回記者懇談会, 東京, 2024. 02
 - 3) 高野政志. 特別講演1「子宮頸がんから自分を守る! 自分に関係ないと思っているあなたへ大事なメッセージ伝えます!」日耳鼻埼玉県地方部会 2024年頭頸部外科月間市民公開講座, 埼玉, 2024. 07
 - 4) 高野政志. 特別シンポジウム「社会における微量元素研究」「卵巣明細胞癌の発生・代謝に関与する“微量元素” “Trace elements” involved in the development and metabolism of ovarian clear cell carcinoma. 第35回日本微量元素学会, 埼玉, 2024. 09
 - 5) 高野政志. ワークショップ「女性の健康課題と薬剤師による支援」「HPVワクチンの現状と今後～いかに啓発・推進していくか～」第57回日本薬剤師会学術大会, 埼玉, 2024. 09
- 一般演題発表
- 1) 田中佑奈, 高田美乃莉, 宮本守員, 海士洋平, 今氏晶梨, 岩間公隆, 三宅太郎, 吉本和矢, 加藤顕人, 笹秀典, 高野政志. 血清

- hCG 値が再上昇した右卵管妊娠の一例. 第 61 回埼玉県医学会総会, 埼玉, 2024. 02
- 2) 山口諒太, 伊藤翼, 高田美乃莉, 岩間 公隆, 三宅太郎, 吉本和矢, 大塚由花, 宮本守員, 笹秀典, 緒方衡, 高野政志. 後腹膜発生の平滑筋肉腫の 1 例. 第 69 回防衛衛生学会, 東京, 2024. 02
 - 3) 白川ひな子, 吉本和矢, 笹秀典, 高田美乃莉, 岩間公隆, 今氏晶梨, 三宅太郎, 大塚由花, 宮本守員, 池脇克則, 高野政志. 多因子による深部静脈血栓合併妊娠の 1 例. 第 69 回防衛衛生学会, 東京, 2024. 02
 - 4) 山本由起, 笹秀典, 今氏晶梨, 三宅太郎, 伊藤翼, 羽田平, 加藤顕人, 宮本守員, 松熊晋, 高野政志. 子宮頸部円錐切除後の再発病変診断のピットフォール: 再発が浸潤癌だった 2 例から. 第 61 回埼玉県医学会総会, 埼玉, 2024. 02
 - 5) 木村西施, 加藤顕人, 伊藤翼, 今氏晶梨, 岩間公隆, 吉本和矢, 高田美乃莉, 大塚由花, 宮本守員, 鈴木理絵, 笹秀典, 高野政志. 術中迅速検査が有効であった卵巣中腎様癌の 1 例. 第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 6) 三宅太郎, 宮本守員, 羽田平, 大塚由花, 岸本直久, 高田美乃莉, 今氏晶梨, 吉本和矢, 岩間公隆, 海士洋平, 田中佑奈, 高野政志. 病理診断支援人工知能技術を用いて子宮体部類内膜癌の Grade 分類が可能かどうかに関する比較—中間解析— 第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 7) 羽田平, 宮本守員, 大塚由花, 岸本直久, 高田美乃莉, 今氏晶梨, 三宅太郎, 吉本和矢, 岩間公隆, 海士洋平, 田中佑奈, 高野政志. 病理診断支援人工知能技術を用いて卵巣高異型度漿液性癌の病理組織学的構造から遺伝子相同組み換え修復欠損の有無を判定することに関する検討. 第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 8) 高田美乃莉, 宮本守員, 海士洋平, 田中佑奈, 今氏晶梨, 岩間公隆, 三宅太郎, 吉本和矢, 加藤顕人, 鈴木理絵, 笹秀典, 高野政志. 成熟嚢胞性奇形腫に対する腹腔鏡下卵巣腫瘍核出術後に化学性腹膜炎をきたした 1 例. 第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 9) 吉本和矢, 岸本直久, 宮本守員, 今氏晶梨, 岩間公隆, 高田美乃莉, 田邊利砂, 西村想子, 伊藤翼, 大塚由花, 羽田平, 高野政志. 当院の妊娠高血圧症候群 (hypertensive disorders of pregnancy: HDP) 患者における血清中 micro RNA の網羅的解析. 第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 10) 田中佑奈, 岸本直久, 宮本守員, 今氏晶梨, 高田美乃莉, 田邊利砂, 西村想子, 伊藤翼, 大塚由花, 羽田平, 笹秀典, 高野政志. 当院の妊娠糖尿病 (gestational diabetes mellitus; GDM) 患者の分娩前 (妊娠後期) の血清を用いた miRNA 解析. 第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 11) 今氏晶梨, 宮本守員, 羽田平, 大塚由花, 高田美乃莉, 岩間公隆, 三宅太郎, 吉本和矢, 海士洋平, 田中佑奈, 加藤顕人, 高野政志. 当院における低悪性度子宮内膜間質肉腫 (Low-grade endometrial stromal sarcoma) の検討. 第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 12) 海士洋平, 宮本守員, 羽田平, 大塚由花, 岸本直久, 高田美乃莉, 今氏晶梨, 三宅太郎, 岩間公隆, 吉本和矢, 田中佑奈, 高野政志. 子宮内膜由来の中腎様癌 (Mesonephric-Like Carcinoma) と診断された 2 例. 第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 13) 山口諒大, 加藤顕人, 伊藤翼, 今氏晶梨, 岩間公隆, 吉本和矢, 高田美乃莉, 大塚由花, 宮本守員, 鈴木理絵, 笹秀典, 高野政志. 妊娠を契機に診断され遺伝カウンセリングを施行した筋強直性ジストロフィー合併妊娠の 2 例. 第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 14) 菅沼奈弥, 高田美乃莉, 宮本守員, 海士洋平, 田中佑奈, 今氏晶梨, 岩間公隆, 三宅太郎, 吉本和矢, 加藤顕人, 笹秀典, 高野政志. 右卵管妊娠に対する卵管切術後に異

- 所性妊娠を反復し腹膜妊娠の診断となった1例. 第76回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
- 15) 伊藤翼, 宮本守員, 岩間公隆, 吉本和矢, 今氏晶梨, 高田美乃莉, 大塚由花, 羽田平, 岸本直久, 加藤顕人, 笹秀典, 高野政志. 卵巣明細胞癌における血栓性イベントと免疫染色の検討. 第76回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 16) 岸本直久, 宮本守員, 今氏晶梨, 高田美乃莉, 西村想子, 田邊利砂, 伊藤翼, 羽田平, 大塚由花, 高野政志. 前置胎盤における子宮内遺残物(RPOC)の危険因子や産褥出血との関連に関する検討. 第76回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 17) 角倉仁, 宮本 守員, 今氏 晶梨, 高田美乃莉, 岸本直久, 羽田平, 大塚由花, 加藤顕人, 垣本壮一郎, 笹秀典, 高野政志. プラチナ抵抗性再発卵巣明細胞癌に対するベバシズマブ併用化学療法について. 第76回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 18) 杉浦敦, 竹田善紀, 山中彰一郎, 市田宏司, 岸本倫太郎, 中西美紗緒, 箕浦茂樹, 桃原祥人, 高野政志, 喜多恒和. HIV 母子感染におけるリスク因子に関する検討. 第76回日本産科婦人科学会学術講演会, 神奈川, 2024. 04
 - 19) 杉浦敦, 竹田善紀, 山中彰一郎, 市田宏司, 湊怜子, 小林裕幸, 高野政志, 中西美紗緒, 箕浦茂樹, 桃原祥人, 藤田綾, 喜多恒和, 吉野直人. 妊娠初期HIVスクリーニング陰性例からの HIV 母子感染に関する検討. 第40回日本産婦人科感染症学会学術集会, 東京, 2024. 05
 - 20) 伊藤由子, 吉野直人, 高橋尚子, 杉浦敦, 田中瑞恵, 山田里佳, 北島浩二, 出口雅士, 高野政志, 蓮尾泰之, 林公一, 外川正生, 喜多恒和. HIV 母子感染全国調査25年間の変遷. 第40回日本産婦人科感染症学会学術集会, 東京, 2024. 05
 - 21) 岩動ちず子, 吉野直人, 小山理恵, 菊池琴佳, 伊藤由子, 高橋尚子, 杉浦敦, 田中瑞恵, 山田里佳, 北島浩二, 出口雅士, 高野政志, 喜多恒和. COVID-19 パンデミック下におけるHIV 母子感染に関する診療への影響. 第40回日本産婦人科感染症学会学術集会, 東京, 2024. 05
 - 22) 伊藤翼, 鈴木理絵, 甲賀宏子, 高田美乃莉, 羽田平, 宮本守員, 水足邦雄, 今井耕輔, 笹秀典, 高野政志. 多発性内分泌腫瘍症1型合併妊娠の1例ー遺伝カウンセリングの立場からー, 第30回日本遺伝性腫瘍学会学術集会, 2024. 05
 - 23) 高田美乃莉, 宮本守員, 今氏晶梨, 岩間公隆, 三宅太郎, 吉本和矢, 岸本直久, 羽田平, 加藤顕人, 笹秀典, 高野政志. 右卵巣繊維腫の疑いで腹腔鏡下手術を行い子宮円靱帯から発生した子宮筋腫であった1例. 第147回関東連合産科婦人科学会 総会・学術集会, 東京, 2024. 06
 - 24) 伊藤翼, 宮本守員, 海士洋平, 三宅太郎, 今氏晶梨, 高田美乃莉, 岸本直久, 大塚由花, 羽田平, 加藤顕人, 笹秀典, 佐藤周子, 宮居弘輔, 緒方衡, 松熊晋, 高野政志. 診断に難渋した mixed epithelial-stromal tumor の1例. 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 鹿児島, 2024. 07
 - 25) 羽田平, 宮本守員, 今氏晶梨, 三宅太郎, 海士洋平, 伊藤翼, 角倉仁, 加藤顕人, 垣本壮一郎, 高野政志. 病理診断支援人工知能技術を用いた卵巣粘液癌の予後予測に関する検討. 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 鹿児島, 2024. 07
 - 26) 鈴木理絵, 伊藤翼, 岸本直久, 羽田平, 角倉仁, 加藤顕人, 宮本守員, 笹秀典, 高野政志. 当院の卵巣癌患者における遺伝子検査の現状-遺伝カウンセリングの立場から- 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 鹿児島, 2024. 07
 - 27) 海士洋平, 伊藤翼, 田中佑奈, 岩間公隆, 吉本和矢, 三宅太郎, 今氏晶梨, 高田美乃莉, 岸本直久, 羽田平, 大塚由花, 加藤顕人, 宮本守員, 笹秀典, 高野政志. 子宮原発悪性リンパ腫の3例. 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 鹿児島, 2024. 07

- 28) 今氏晶梨, 宮本守員, 羽田平, 海士洋平, 三宅太郎, 岸本直久, 伊藤翼, 角倉仁, 加藤顕人, 高野政志. 卵巣微小嚢胞間質性腫瘍(microcystic stromal tumor;MCST)の1例. 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 鹿児島, 2024.07
- 29) 加藤顕人, 宮本守員, 羽田平, 伊藤翼, 今氏晶梨, 三宅太郎, 笹秀典, 高野政志. 卵巣がん化学療法中、CA125をモニタリングすることでCTによる治療効果判定を省略しうる. 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 鹿児島, 2024.07
- 30) 長尾昌二, 西尾真, 竹原和宏, 佐藤慎也, 佐藤豊実, 島田宗昭, 山口聡, 田部宏, 高野政志, 堀江弘二, 藤原 行, 宮城悦子, 日比野佑美, 長谷川幸清, 武隈宗孝, 中村和人, 高野浩邦, 藤原恵一, 増山寿. 再発子宮体癌に対するプラチナ製剤再投与:SGSG012/GOTIC004 研究追加報告. 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 鹿児島, 2024.07
- 31) 高野政志. コンセンサスミーティング 卵巣がん・卵管癌・腹膜癌治療ガイドライン2025年度版「初回化学療法についての改訂-主なポイント」 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 鹿児島, 2024.07
- 32) 伊藤翼, 曾山浩明, 海士洋平, 田中佑奈, 岩間公隆, 大塚由花, 羽田平, 岸本直久, 加藤顕人, 宮本守員, 高野政志. 採卵後の卵管卵巣膿瘍を腹腔鏡下手術で治療した2例. 第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 東京, 2024.09
- 33) 田中佑奈, 曾山浩明, 羽田平, 田岡拓輔, 三宅眞友子, 海士洋平, 岩間公隆, 吉本和矢, 岸本直久, 加藤顕人, 宮本守員, 高野政志. 線維腫構造を伴わない明細胞境界悪性卵巣腫瘍の1例. 第148回関東連合産科婦人科学会, 長野, 2024.10
- 34) 岩間公隆, 曾山浩明, 岸本直久, 田岡拓輔, 三宅眞友子, 海士洋平, 田中佑奈, 伊藤翼, 羽田平, 加藤顕人, 宮本守員, 高野政志. 妊娠中に Streptococcus pyogenes による劇症型A群溶連菌感染症を伴う眼窩蜂窩織炎を発症した1例. 第148回関東連合産科婦人科学会, 長野, 2024.10
- 35) 笹秀典, 伊藤翼, 三宅太郎, 宮本守員, 三鍋慎也, 島崎英幸, 高野政志. 浸潤癌と思われた子宮頸部の炎症性変化の1例. 第63回日本臨床細胞学会秋期大会, 千葉, 2024.11
- 36) 伊藤翼, 曾山浩明, 海士洋平, 田中佑奈, 岩間公隆, 大塚由花, 羽田平, 角倉仁, 岸本直久, 加藤顕人, 宮本守員, 高野政志. 妊娠中期の卵巣腫瘍に対する腹腔鏡手術の工夫. 第47回日本産婦人科手術学会, 岡山, 2024.11
- 37) 柴田佳苗, 曾山浩明, 伊藤翼, 西村想子, 田邊利砂, 岸本直久, 角倉仁, 羽田平, 大塚由花, 宮本守員, 高野政志. メチルエルゴメトリンマレイン酸塩の投与を契機にして急性肺水腫を発症し, 集中治療を要した1例. 埼玉産科婦人科学会・埼玉県産婦人科医会 令和6年度後期学術集会, 埼玉, 2024.11
- 38) 高野政志, 喜多恒介, 川島史奈, 鈴木ひとみ, 羽柴知恵子, 三上由美子, 出口雅士, 杉浦敦, 田中瑞恵, 高橋尚子, 喜多恒和, 吉野直人. HIV 感染妊娠に関する情報の普及啓発方法の開発～SNSを用いた性感染症に関する情報発信の試み. 日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2024.12
- 39) 吉野直人, 伊藤由子, 岩動ちず子, 小山理恵, 菊池琴佳, 幅野渉, 高橋尚子, 杉浦敦, 田中瑞恵, 出口雅士, 高野政志, 喜多恒和. 妊娠初期HIVスクリーニング陰性妊婦への妊娠中期から後期健診でのHIV再検査の実施状況. 日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2024.12
- 40) 浅見悠可, 前川祐哉, 小林瑞貴, 金野遥, 齋藤舞桜, 藤田奈津実, 伊藤響, 奈良本千朋, 千田結理, 根本紗希, 鮎川美涼, 吉野直人, 喜多恒和, 高野政志, 蜂谷敦子. 若年層の性感染症ならびにHIV母子感染に対する意識調査と対象を加味した効果的な情報発信方法の検討. 日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2024.12
- 41) 湊怜子, 杉浦敦, 竹田善紀, 山中彰一郎,

市田宏司，中西美紗緒，箕浦茂樹，高野政志，桃原祥人，小林裕幸，藤田綾，高橋尚子，田中瑞恵，出口雅士，喜多恒和，吉野直人. 本邦における近年の HIV 感染妊娠の背景に関する検討. 日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2024. 12

42) 杉浦敦，竹田善紀，湊怜子，市田宏司，山中彰一郎，小林裕幸，高野政志，中西美紗緒，箕浦茂樹，田中瑞恵，出口雅士，喜多恒和，吉野 直人. シンポジウム女性の PLHIV の健康を考える「近年の HIV 感染妊娠に関する問題点」. 日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2024. 12

43) 吉野直人，伊藤由子，岩動ちず子，小山里恵，菊池琴佳，幅野渉，高橋尚子，杉浦敦，田中瑞恵，出口雅士，高野政志，喜多恒和. シンポジウム女性の PLHIV の健康を考える「日本における HIV 母子感染一過去・現在・未来からの女性の PLHIV を考える」. 日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2024. 12

44) 笹秀典，伊藤翼，岸本直久，三宅太郎，宮本守員，三鍋慎也，島崎英幸，市村隆也，高野政志. 浸潤癌像を呈した子宮頸部上皮内腫瘍の 1 例—細胞診・組織診の重要性. 第 62 回埼玉県医学会総会，埼玉，2025. 02

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

表1 本研究班ホームページのページビュー数（令和6年4月～）

	R6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	R6年度合計	R5年度合計
1	HIV感染妊娠と母子感染予防(ホームページ)	272	278	280	344	361	261	243	316	379	366	3100	3403
2	研究目的	24	34	13	12	23	11	10	19	21	12	179	108
3	研究組織	17	42	15	23	39	39	16	27	29	19	266	149
4	研究報告書	36	69	29	29	65	46	43	38	51	31	437	466
5	ガイドライン・マニュアル・リーフレット	186	186	172	196	140	310	438	341	316	393	2678	1477
6	性感染症に関する豆知識	22	45	49	38	30	24	57	56	39	33	393	577
7	Q&A	533	697	682	634	609	617	549	564	485	1169	6539	6700
8	資料ダウンロード	36	21	17	28	32	35	40	39	47	29	324	372
9	リンク集	15	9	5	9	9	15	11	9	6	3	91	83
10	HIV感染妊婦受入施設案内	28	37	19	26	37	45	30	28	37	43	330	429
11	小児科・産婦人科二次調査 Q&A	5	7	2	2	7	12	1	3	7	6	52	53
12	性と感染症の新ジョーシキ	17	42	43	34	38	51	66	384	214	209	1098	836
13	お問い合わせ	13	34	7	18	7	12	24	12	22	12	161	136
14	お知らせ一覧	18	15	8	22	5	6	6	3	5	7	95	114
15	サイトについて	5	32	5	6	8	6	8	6	9	8	93	78
	合計	1227	1548	1346	1421	1410	1490	1542	1845	1667	2340	15836	14981

表 2 研究班ホームページにおける「クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ」へのアクセス数

R6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	R6年度計	R5年度計
女性編（パソコンより）	5	11	11	8	14	20	16	102	20	97	304	150
女性編（携帯より）	1	18	10	5	6	5	9	15	49	23	141	218
男性編（パソコンより）	4	5	8	2	5	8	12	83	14	74	215	123
男性編（携帯より）	0	3	6	3	2	0	1	10	23	13	61	185
小計	10	37	35	18	27	33	38	210	106	207	721	676
ページビュー総計	17	42	43	34	38	51	66	384	214	209	1098	746

※ページビュー数：ホームページの Top 画面からクリックし、「性と感染症の新ジョーシキ」ページにとんだ回数

表 3 令和 6（2024）年度の紙媒体資材送付数

依頼施設	依頼件数	小冊子	リーフレット	カード	用途
県	1	300	300	300	・ HIV検査の相談施設へ配布 ・ 成人式で配布 ・ 保健所・市役所・病院で配布 ・ 市の健康講座で配布 ・ イベントで配布 ・ 大学講義に使用 ・ 中高生の出前授業に使用 ・ 養護教諭・教師の研修に使用 ・ 10 - 20代 性に関するイベントなど
市区町村	15	4010	900	590	
保健所	13	4610	3000	1100	
病院他	5	4128	3977	4198	
計	34	13048	8177	6188	

図1 AIDS文化フォーラム in Yokohama の当班担当部分報告書

Page 14

2024(第31回) AIDS文化フォーラム in 横浜

妊婦さんの感染症、どう伝える！？

～HIV、梅毒、STDなどで困っている女性へ～

主催：令和6年度 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業

「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」(研究代表者 吉野直人)

分担研究「多様な世代の国民向けHIV感染妊娠の情報啓発アプローチの実践と基盤開発に向けた研究」(分担研究者 高野政志)

厚労科研費HIV母子感染予防班「国民へ知識を啓発する分担班」からの啓発活動の一環として行われた。

内容：当日は下記内容でウイルスや性感染症について解説し最後に、総合討論を行った。Zoomによってオンライン発信も行い、WEBからの参加者も募って実施した。

◆「HIVと母子感染」(名古屋医療センター 羽柴知恵子さん)

◆「STD、梅毒、どう予防する？」(九州医療センター 長與由紀子さん)

◆「HPVと母子感染」(防衛医大産科婦人科 高野政志さん)

会場では40名ほど参加して頂き、Zoomでの参加者は76名であった。総合討論としては、性感染症やHIV/HPVに対する予防効果としてのコンドームについて、予防効果が100%でない部分をどのように対処すべきかについて、議論となった。性感染症の病原体の特性にあわせて対応すべき点や、射精のときだけコンドームを使うなどの誤った方法について啓発していく必要性を再認識した。また、HPVワクチンの安全性をどのように考えたらよいかや、接種する対象者の年齢や性交渉歴などについても複数の質問があった。

連絡先：防衛医科大学校病院産科婦人科 高野政志

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

防衛医科大学校産科婦人科学講座

TEL:04-2995-1511 E-mail:

hivboshi@gmail.com URL:http://



図2 AIDS文化フォーラム in 京都の当班担当部分報告書

妊婦さん、女性の性感染症！？

～どうやって予防するか一緒に考えましょう～

厚労科研費HIV母子感染予防班、「国民へ知識を啓発する」の啓発動画テーマや、改善点分担班 HIV母子感染予防に関して全国調査をもとに妊娠・分娩に関するガイドラインやマニュアルを作成し、さらに国民や医療者への啓発活動を行っています。国民へ HIV をふくむ性感染症予防に関する知識の普及啓発活動の一環として参加しました。

今年度は、展示での参加にチャレンジしてみました。展示パネル2台、横長机2台、スクリーンモニター1台をお借りすることができ、展示パネルでは、当分担班が啓発セミナーや学会で報告してきたHIV陽性妊娠の全国調査のデータや、性感染症に関する情報などを紹介しました。また、これらの情報や知識啓発のために当班から出張で全国に伺う出前講座についても宣伝しました。横長机には、当班が作成してきた性感染症に関する小冊子、リーフレットや当班ホームページ(HP)紹介カード、さらにはHPに掲載している各種資料を展示し、来場者に配布しました。さらにスクリーンモニターでは、当分担班が昨年度までに作成した性感染症に関する動画を映写して、活動のアピールをするとともに、今後

の啓発動画テーマや、改善点などについてアンケートで答えてもらうようにしてみました。

展示会場のメイン教室の入口すぐに配置頂いたこともあり、多くの方々に展示を見て頂くことができました。展示の資料として各々100部以上持参しましたが、2日間で不足するものもあり、最寄りのコンビニで急遽、追加印刷した

ものもあるほどでした。また、2日目の京都新聞朝刊に「エイズの母子感染予防に関する展示」と紹介頂いたことも、我々のモチベーション・アップにつながりました。今後もさらに啓発活動を進めてまいります。

連絡先：URL(当班HP): <http://www.hivboshi.org>

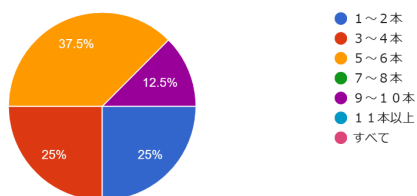
e-mail: hivboshi@gmail.com



図3 短期大学ゼミ生からみた当班作成動画の感想

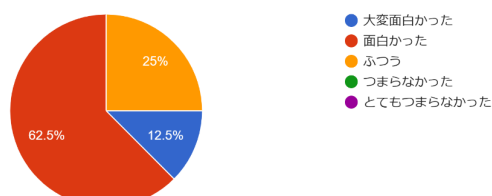
1. 何本SNS動画を視聴しましたか？

8 件の回答



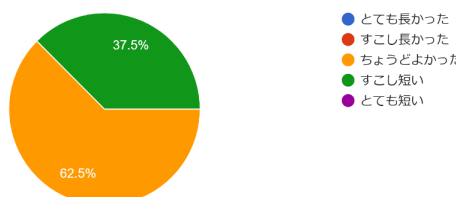
2. SNS動画の第一印象はいかがだったでしょうか？

8 件の回答



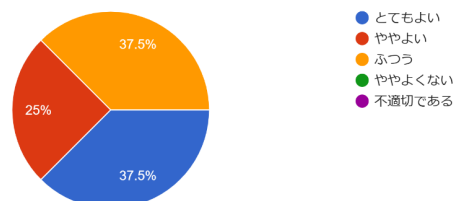
3. SNS動画の長さはどうでしたか？

8 件の回答



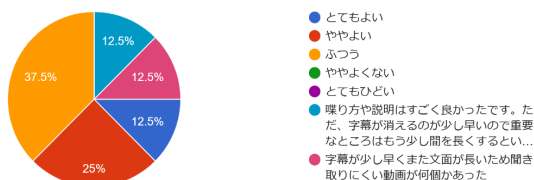
4. SNS動画が扱うテーマとしてはいかがだったでしょうか？

8 件の回答



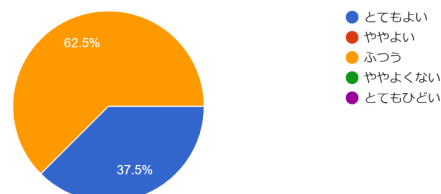
5. 解説する口調、リズムはいかがだったでしょうか？

8 件の回答



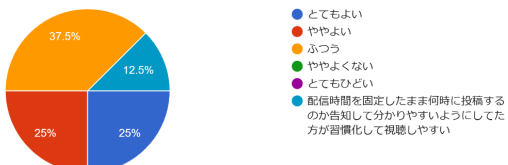
6. 配役はいかがだったでしょうか？

8 件の回答



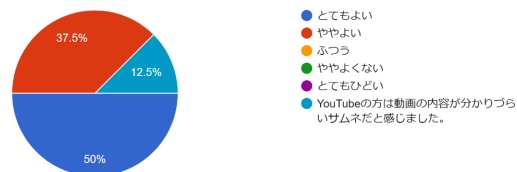
7. 配信したときには平日の夕方5時に連日投稿す...式としました。方法についてはどうでしょうか？

8 件の回答



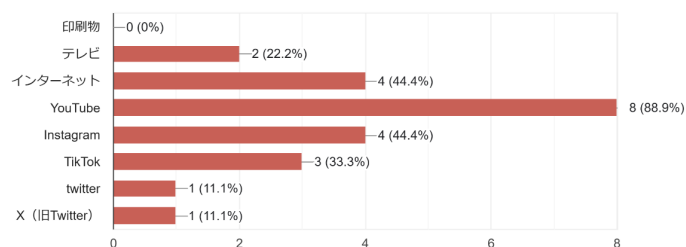
8. 今回は同じ動画をYouTube、Instagram...リへ投稿しました。この方法についてはどう思いますか？

8 件の回答



9. ふだん、暇なときにだら〜っと情報収集すると...媒体で知識を収集していますか？（複数選択可）

9 件の回答



10. 真剣に情報収集するとき、どのような媒体で知識を収集していますか？（複数選択可）

9 件の回答

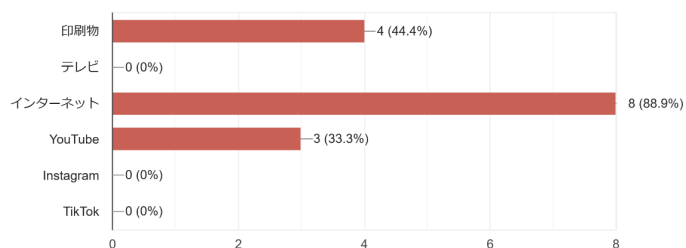


図4 「年代別、女性の体調管理 How To 講座」を紹介するパンフレット

12/14(土)
大宮で開催
参加無料

女性のホルモンバランスや免疫、月経困難症、生理痛、PMS、HIV母子感染、更年期…。知って、予防して、トラブル回避

プレゼント付き！「年代別、女性の体調管理How To講座」

主催／大塚製薬ニュートラシューティカルズ事業部 協力／サンケイリビング新聞社



高野政志先生
防衛医科大学校産婦人科学講座
教授(科長)。研究分野/ライフサイエンス、産婦人科学

大塚製薬「女性の健康セミナー」事務局
Tel.0120-068-552
受け付け10:00～18:00、無休
https://opnc.info/women

プレゼント付き！「年代別、女性の体調管理How To講座」 12/14(土)

■日時 12/14(土) 14:00～16:30
■会場 大宮ソニックシティ会議室805
(大宮駅西口徒歩3分)

■定員 先着30人
※事前予約制

■参加費 無料

申し込みは
こちらから
※●●●●●
23:59まで

■スケジュール

【講演1】14:00～14:30
女性を取り巻く状況について
～年代別の注意すべき疾患とその予防法～
高野政志先生(防衛医科大学校産婦人科学講座、教授)

【講演2】14:30～15:00
免疫を左右する病気、知っていますか(AIDSって何?)
吉野直人先生(産婦人科学微生物学講座、特任准教授)

【講演3】15:00～15:30
最近増えている??月経トラブル
瀬戸理玄(みちはる)先生(瀬戸病院院長)

【質疑応答】15:30～15:40 【休憩】15:40～16:00
【特別企画】16:00～16:30
ワークショップ「香りで癒やしの宝石石鹸作り」
※講師は全員、HIV母子感染研究班所屬

女性ならではのトラブル
視点から、現在の状況や
予防法、対処法を解説
します。参加無料
事前予約申し込みは
左の二次元コードから。

サンケイリビング埼玉 (2024. 10. 25 号)

図5 「年代別、女性の体調管理 How To 講座」参加者からの反響

年代	人数
20代	0
30代	3
40代	6
50代	11
60代以降	7

27名参加 (申し込み40名)

テーマ・内容満足度	人数
満足	8
概ね満足	19
不満	0

**ほぼ全ての参加者が
開催テーマ・内容に満足だったと回答**

知識向上に役立ったか	人数
向上した	17
概ね向上した	10
向上しなかった	0

**ほぼ全ての参加者が
知識向上に有意義だったと回答**

誰かに伝えたい内容だったか	人数
是非伝えたい	16
概ね伝える	10
どちらでもない	1
伝えない	0

**ほぼ全ての参加者が
誰かに伝えたい内容だったと回答**

図6 妊娠初期妊婦に対する電磁的な啓発資材、ならびにアンケート依頼書



1. 性と感染症の新ジョーシキ



↑こちらのQRコードからご覧ください。



2. HIVや梅毒をはじめとする性感染症のすべてが簡単にわかる本



↑こちらのQRコードからご覧ください。



3. 1と2をお読みになってからアンケートにご協力ください



↑こちらのQRコードからお答えください。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

表 4-1 妊娠初期妊婦に対する電磁的アンケートの結果
「回答妊婦の背景」

(1) 回答数 85 名の機関ごと内訳

公的病院	2
市中病院	3
有床診療所 1	23
有床診療所 2	10
有床診療所 3	47

(2) 回答所要時間：平均 3 分 10 秒（中央値 2 分 21 秒）

(3) 対象妊婦の年齢：平均 31.1 歳（中央値 31.0 歳）

(4) 出産回数 （n=84 ）（1 名無回答）

0 回（初産）	40 名
1 回	36 名
2 回	6 名
3 回	2 名

表 4-2 妊娠初期妊婦に対する電磁的アンケートの結果
「資材の分量、HIV スクリーニング検査について」

(1) 啓発資材の分量 (n=85)

	少な すぎる	どちら かとい うと少 ない	ちよ うど良 い	どちら かとい うと多 い	多い	多すぎ る	無回答
①クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ	0	0	56	27	0	2	0
②HIVや梅毒をはじめとする性感染症のすべてが簡単にわかる本	0	0	59	23	0	2	1

(2) 啓発資材の内容 (n=85)

	まだ読 んでい ない	ほとん ど理 解でき なかつ た	3割程 度理 解でき た	5割程 度理 解でき た	8割以 上理 解でき た
①クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ	0	0	6	13	66
②HIVや梅毒をはじめとする性感染症のすべてが簡単にわかる本	0	0	6	27	52

(3) HIV (エイズウイルス) が妊娠中に母体から赤ちゃんに感染することを知っていましたか? 「その他」の場合は内容をご記入ください。(n=85)

以前から知っていた	69 名
このリーフレットや冊子で知った	16 名
その他	0 名

(4) 妊婦健診で HIV (エイズウイルス) のスクリーニング検査をおこなうことを知っていましたか? 「その他」の場合は内容をご記入ください。(n=85)

以前から知っていた	62 名
このリーフレットや冊子で知った	23 名
その他	0 名

表 4-3 妊娠初期妊婦に対する電磁的アンケートの結果
「HIV スクリーニング検査の偽陽性について」

- (1) HIV (エイズウイルス) のスクリーニング検査で「陽性」になっても、そのうち 95% 以上は「偽陽性 (本当は陰性)」であることを知っていましたか? 「その他」の場合は内容をご記入ください。(n=85)

以前から知っていた	13 名
このリーフレットや冊子で知った	71 名
無回答	1 名
その他	0 名

- (2) HIV (エイズウイルス) のスクリーニング検査で「陽性」と出た場合、確認検査の結果が出るまで 1 週間ほどかかります。その期間、あなたであればどのような気持ちになると思われますか? 「その他」の場合は内容をご記入ください。(n=85)

非常に動揺する	46 名
動揺はするが、偽陽性率が高いことを知っていれば落ち着いて待てる	35 名
あまり気にならない	4 名
その他	0 名

- (3) このアンケートを受けたことで、HIV (エイズウイルス) 感染についての知識は増えましたか? 「その他」の場合は内容をご記入ください。(n=85)

増えた	81 名
以前から知っていることだったので知識は増えなかった	4 名
このアンケートを前にも受けたので知識は増えなかった	0 名
その他	0 名

表 4-4 妊娠初期妊婦に対する電磁的アンケートの結果
「HIV 以外の性感染症についてスクリーニング検査について」

- (1) HIV（エイズウイルス）感染だけでなく、女性が性感染症を治療しないまま妊娠（または妊娠中に感染）すると、赤ちゃんにうつる可能性（母子感染）があることを知っていましたか？「その他」の場合は内容をご記入ください。(n=85)

以前から知っていた	67 名
このリーフレットや小冊子で知った	18 名
その他	0 名

- (2) 性感染症はパートナーも感染している可能性が高いため、せっかく治療して治っても、相手も同時に治療しないと再度うつされる「ピンポン感染」があることを知っていましたか？「その他」の場合は内容をご記入ください。(n=85)

以前から知っていた	66 名
このリーフレットや冊子で知った	18 名
その他	0 名
未回答	1 名

- (3) 性感染症には たくさんの種類がありますが、ここ数年 梅毒患者が増えていることを知っていましたか？「その他」の場合は内容をご記入ください。(n=85)

以前から知っていた	63 名
このリーフレットや小冊子で知った	22 名
その他	0 名

- (4) クラミジア感染症や淋菌感染症など、女性は無症状で気づきにくい性感染症があることを知っていましたか？「その他」の場合は内容をご記入ください。(n=85)

以前から知っていた	58 名
このリーフレットや小冊子で知った	26 名
その他：知っていたけど普段気にしたことがなかった	1 名

表 4-5 妊娠初期妊婦に対する電磁的アンケートの結果
「性感染症予防と風疹ワクチンについて」

- (1) 次の項目のなかで、あなたやパートナーが妊娠中の性感染症を防ぐために必要だと思うものを、すべて選んでください。「その他」がある場合は内容をご記入ください。

(n=85 複数回答)

セックスの時はコンドームを使う	78 名
不特定多数の相手とセックスをしない	78 名
パートナーと一緒に検査を受け、性感染症にかかっていないことを確かめる	61 名
気になる症状がある時は、すぐに医師の診察を受ける	67 名
その他：パートナーにも情報を身につけてもらう	2 名
<選択された項目数>	
0 項目	0 名
1 項目	7 名
2 項目	5 名
3 項目	25 名
4 項目	46 名
その他含め 5 項目	2 名

- (2) 性感染症以外にも、母子感染で赤ちゃんに重大な影響を及ぼす病気がたくさんあります。中でも風疹は、赤ちゃんに難聴や心臓の病気があらわれることがあります。妊娠前のワクチン接種で防ぐことができることを知っていましたか？「その他」の場合は内容をご記入ください。(n=85)

以前から知っていた	67 名
このリーフレットや冊子で知った	18 名
その他	0 名

表 5 啓発動画の短期・長期的視聴数（シーズン 1～3）

6 ヶ月後視聴数の多い啓発動画（シーズン 1）			
No	タイトル	2 週後 視聴数	6 ヶ月後 視聴数
YouTube			
19	彼女のあそこが正直ニオウ…これって性病？	10, 115	10, 307
20	彼氏のあれにぶつぶつがある…これって性病？	6, 455	6, 669
7	ゴムなしでやってしまった…大丈夫なの…？	4, 464	4, 858
Instagram			
7	ゴムなしでやってしまった…大丈夫なの…？	816, 000	1, 439, 000
18	童貞だけど初めてのセックスが不安	24, 000	109, 000
19	彼女のあそこが正直ニオウ…これって性病？	38, 000	109, 000
TikTok			
14	なんでナマでしちゃいけないの？	630, 600	631, 700
20	彼氏のあれにぶつぶつがある…これって性病？	275, 100	443, 500
18	童貞だけど初めてのセックスが不安	80, 200	151, 700
6 ヶ月後視聴数の多い啓発動画（シーズン 2）			
No	タイトル	2 週後 視聴数	6 ヶ月後 視聴数
YouTube			
12	コンドームつけても妊娠しちゃった？！	29（再投稿）	17, 566
11	ヤバイ！コンドームが破れちゃった！	26（再投稿）	5, 523
9	【要注意】ヤバイ性病はどれ？	4, 773	4, 918
Instagram			
12	コンドームつけても妊娠しちゃった？！	853, 000	1, 449, 000
1	【ヤバイ！？】生理の血が黒い…	20, 000	101, 000
2	【実践】コンドームの選び方	7, 862	85, 000
TikTok			
1	【ヤバイ！？】生理の血が黒い…	89, 300	96, 000
8	おりものが臭うと病気のサイン…？！	8, 552	27, 000
12	コンドームつけても妊娠しちゃった？！	6, 705	21, 000
6 ヶ月後視聴数の多い啓発動画（シーズン 3）			
No	タイトル	2 週後 視聴数	6 ヶ月後 視聴数
YouTube			
8	自分が性病かってどうやってわかるの（女子）	11, 879	11, 967
2	彼女が性病かも…どうしたらいい？	11, 241	11, 310
14	生理中に、彼から求められたら…?!	9, 009	9, 014
Instagram			
12	包茎って手術した方がいいの？	3, 621	3, 641
16	がまん汁で妊娠するってウソ？ホント？	3, 102	3, 153
2	彼女が性病かも…どうしたらいい？	2, 782	2, 811
TikTok			
5	生理が来ない？どうすればいい？	54, 100	180, 000
16	がまん汁で妊娠するってウソ？ホント？	35, 300	66, 000
8	失敗しないコンドームの選び方	15, 900	25, 000

表6 6ヶ月後視聴数の総計（シーズン1～3、全ての動画総計）

アプリ	シーズン 1 21 本	シーズン 2 14 本	シーズン 3 16 本	小計
YouTube	58,413	52,062	72,175	182,650
Instagram	2,973,000	1,774,409	38,497	4,785,906
TikTok	1,787,033	327,745	500,223	2,615,001
小計	4,818,446	2,154,216	610,895	7,583,557